

育児プラン、キャリア形成等に関する聴取事項シート

氏名	
----	--

	聴取項目	回答					
		第1子		第2子		第3子	
基本項目	子の状況						
	育児時間の取得時間・期間	～			～		
	育児短時間勤務の時間・期間	～			～		
人事課職員が直接面談の上聴取する項目	当面の超過勤務への対応						
	当面の将来の育児プラン 育児に関して勤務上の配慮を希望する事項及び期間						
	当面のキャリア形成のイメージ (子の成長段階に応じた働き方のイメージ)						

(注) 当面の状況を聴取するものであり、将来にわたってこの聴取内容に制約されるものではありませんので、率直な御意向をお伝えください。

育児プラン、キャリア形成等に関する聴取事項シート

氏名	○ ○ ○ ○
----	---------

	聴取項目	回答					
		第1子	小3 (9歳)	第2子	年長 (5歳)	第3子	保育所 (0歳)
基本項目	子の状況						
	育児時間の取得時間・期間	16:15	～	17:15	R3.4.19	～	R4.3.31
	育児短時間勤務の時間・期間		～			～	
人事課職員が直接面談の上聴取する項目	当面の超過勤務への対応	<p>(例1) 保育園へのお迎え時間に間に合うよう育児時間を取得する必要があるため、超過勤務はできない。</p> <p>(例2) フルタイム勤務はできるが、恒常的な超過勤務には対応できないと考えている。あらかじめ超過勤務が分かっているような場合であれば、家族の協力を得て多少の超過勤務には対応できるのではないかと考えている。</p>					
	当面の将来の育児プラン 育児に関して勤務上の配慮を希望する事項及び期間	<p>(例1) 家庭において、育児、家事を中心となって担っていく必要がある。このため、第3子が小学校に入学するまでの間は育児短時間勤務を取得する。小学校低学年のうちの子の帰宅時間との関係から超過勤務はできない。</p> <p>(例2) 配偶者又は実父母の協力が得られることから、毎日の定時勤務及び多少の超過勤務には対応可能である。なお、第3子の小学校に入学後は、超過勤務の制限等勤務時間に関する配慮は不要である。</p>					
	当面のキャリア形成のイメージ (子の成長段階に応じた働き方のイメージ)	<p>(例1) 子が小学校高学年となっても、家事等を中心的に担っていく必要があり、家庭生活を優先させたいので、繁忙部署での勤務は困難である。</p> <p>(例2) 子が小学校高学年となれば勤務時間等に関する配慮は不要である。育児期間中の周囲への恩返しのつもりで職務に邁進したいと考えているので、企画立案等を行うポストも経験させていただきたい。</p> <p>(例3) 子が小学校に入学するまでは、繁忙、困難な部局での勤務は困難と考えられる。子の小学校に入学後は、勤務時間等の配慮は不要であり、I種職員として、将来幹部職員を目指せるよう、配置、育成していただきたいと考えている。</p>					

(注) 当面の状況を聴取するものであり、将来にわたってこの聴取内容に制約されるものではありませんので、率直な御意向をお伝えください。